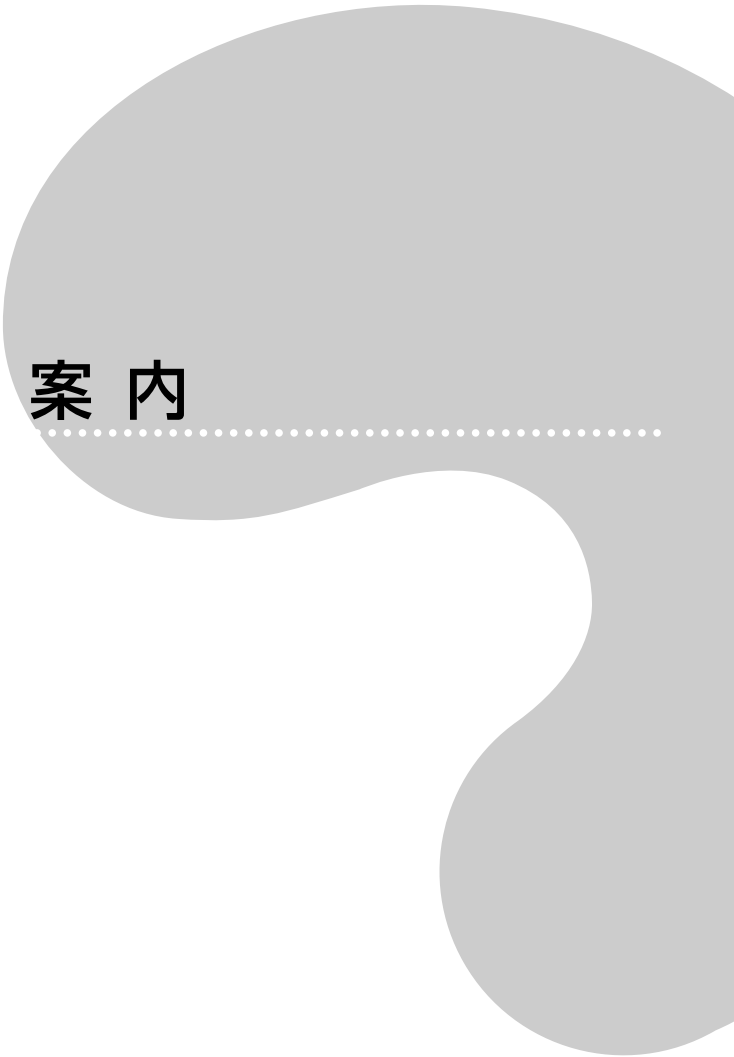


7部

ご案内



レポート、スクーリング、科目修了試験等のお進み具合はいかがでしょう。合格レポートが増えていく楽しみ、勉強したことが役立つ楽しみやモチベーションアップの仕方を見つけられるとよいですね。

1 10月進級(継続)生の方へ

●新年度の送付物

※発送(予定)日より1週間たっても届かない場合は、至急ご連絡ください(以降のご連絡には対応できません)。

※新入生は該当しません。

対象者	発送物	発送(予定)日
<u>学費納入をした10月生の正科生</u>	履修希望科目登録用紙、返信用封筒(桃色)、学生証有効期限シール(注1)、氏名バーコード・事務連絡用封筒(往信用・返信用各5枚)、レポート提出台紙20冊(別便。5年次以上進級者は除く)	入金後10日以内
<u>履修登録をした10月生の正科生</u>	教科書(注2) ※超過履修がある方には先に納入依頼書が届きます	履修希望科目登録用紙が本学到着後10日以内
<u>学費納入をした10生の科目等履修生</u>	①教科書(注2) ②学生証有効期限シール、氏名バーコード ※①②は別便	入金後10日以内

(注1) 履修希望科目登録用紙に同封の手紙に貼付しています。

(注2) 2018年度の履修登録科目が記載された「東北福祉大学教材送付明細書」が同封されます。確認のうえ保管ください。

2 発送物のご案内

科目修了試験、スクーリング評価（履修状況票） 10/3 発送予定（対象者：9月科目修了試験受験者、8/1～10/2に評価登録された夏期、秋期スクーリング受講者（いずれも欠席者は除く））

※「乳児保育」スクーリング試験結果 8/23発送済

スクーリング受講料の返金

春期スクーリングⅡ＝4/14～7/1開講分 8/17に返金済

夏期スクーリング＝7/7～9/2開講分 10/22までに返金予定

（注）返金は下記①②を行うことで可能となります。

①スクーリング開始時間までに通信教育部へ欠席の事前連絡。

②『学習の手引き』8章（2017年版、2018年版は4章3節）記載の方法で郵送による返金申込手続き。

「社会福祉援助技術演習・実習」「精神保健福祉援助演習・実習」関係
8部参照

3 スクーリングに関する追加ご案内

●「介護概論」スクーリング受講にあたって

『レポート課題集A-I（社福指定科目編）2018』記載の「スクーリング講義概要」に誤植があります。詳細は、本冊子p.42をご覧ください。

●2019年度スクーリング開講予定の案内開始について

2019年度のスクーリング開講予定は、12月下旬から通信教育部ホームページ、および1/23発行の『With』135号でご案内開始予定です。

●2019年度スクーリング単位数が変更される科目

科目単位4単位（スクーリング単位2単位）の一部科目について、来年度以降に受講する場合は、①スクーリング単位数が2単位から1単位に変更されたり、②スクーリングのコマ数が増える科目があります。

現時点での該当科目は、「生涯発達心理学」「臨床心理学」「科学的な見方・考え方」「法の基礎（日本国憲法を含む）」「人間と教育」の5科目です。

4 印刷物記載内容追加・訂正のご案内とお詫び

下記のとおり、誤植があります。お詫びとともに訂正いたします。

●『レポート課題集A-Ⅰ（社福指定科目編）2018』

ページ	誤	正		
p. 147～ 148	「介護概論」スクーリング講義内容の表すべて	回数	テーマ	内 容
		1	社会的背景	介護の社会的背景
		2	介護の概念	介護の概念と生活支援
		3	介護の専門性	介護の範囲と専門性
		4	介護過程	ケアマネジメントにおける介護過程
		5	認知症高齢者①	認知症の基本症状とBPSD
		6	認知症高齢者②	認知症高齢者の理解と支援
		7	終末期ケア	高齢者の終末期の特徴とケア
		8	まとめ	
		9	スクーリング試験	

●2019年度からの「心理学研究法」の履修方法について

【2018年度入学者】

・「心理学研究法A」 履修方法：R or SR

・「心理学研究法B」 履修方法：SR

・「心理学統計法」 履修方法：R or SR

※『学習の手引き』2018版 p. 70から一部変更されます。

※認定心理士取得にあたっては、「心理学研究法A」「心理学統計法」が必修になります。

【2017年度以前入学者】

※2017年度以前入学者で「心理学研究法Ⅰ」「心理学研究法Ⅱ」のスクーリング未受講者に対するご案内は今後の『With』でお知らせします。

5 履修登録に関するご案内

●追加履修登録【有料】

申込受付期間 9/20～12/10必着

申込手続き 本冊子巻末「追加履修希望科目登録用紙」と「定額小為替 1,000円」(手数料)を郵送(通信教育部窓口持参の場合は現金でも可)。

追加履修登録によるスクーリング受講希望者へ

履修登録をしていない科目で10/13以降に開講のスクーリングを受講希望の場合は、今回の追加履修登録をご利用ください(あわせて第2次申込締切日までのスクーリング受講申込も別途必要です)。

- (1) 10月生は、1～2月の追加履修登録(手数料無料)を早めに行えば、2/16以降のスクーリング受講が可能です。
- (2) 4月生は、来年度の学費納入と履修登録を早めに行えば、3/16以降のスクーリング受講が可能です。

諸注意

- (1) 正科生は、すでに履修登録している科目とあわせた履修登録単位数

が『学習の手引き』2章に記載の単位数以上になる場合、超過履修費（1単位あたり5,000円）が必要です。

科目等履修生は、追加授業料（1単位あたり6,000円）が必要です。

※年間履修登録単位数の上限は50単位までです。

- (2) 超過履修費・追加授業料の納入最終期限は12/20です。科目等履修生の方は追加授業料納入後の履修登録となりますので、追加履修登録科目でスクーリングを申込み科目がある場合、スクーリングの申込締切日以前に納入をしてください。
- (3) 「追加履修希望科目登録用紙」送付後10日間たっても教科書（請求のある方は納入依頼書）が届かない場合は至急ご連絡ください。
- (4) 超過履修費・追加授業料を納入後2週間たっても教科書が届かない方は至急ご連絡ください(特講科目や教科書配本のない科目を除く)。
- (5) 超過履修費・追加授業料の請求がある場合、納入時期によってはスクーリング開講日までの教科書送付がお約束できません。
- (6) 年度はじめに送付した「履修希望科目登録用紙」を返送せず所持している方は、今回の追加履修登録手続きをしなくても、1・2月を除く任意の時期に履修登録ができます。
- (7) 4月生科目等履修生の方は、追加履修登録を行った科目も、レポート提出は2月末まで、スクーリング受講および科目修了試験受験は3/10までに終わることが必要です。終わられなかった科目の単位修得を希望する場合は、次年度分として再度の履修登録と授業料納入（1単位あたり6,000円）が必要です。
- (8) その他、『学習の手引き』1章・2章をよくご確認のうえで、手続きを行ってください。

- 「障害児の心理」「環境心理学」の履修登録（既報『With』131号p.42）
4月生・10月生とも締め切りました（単位修得期限2019年3月末まで）。

●教科書後送科目

『With』131号 p. 47～48に下記が追加となりました。発送済教科書が未着の場合は至急お申し出ください。

環境心理学 4 / 4～21履修者 5 / 25発送済

6 / 12～20履修者 7 / 4 発送済

8 / 6～12履修者 8 / 24発送済

障害児の心理 4 / 19～28履修者 5 / 25発送済

5 / 28～6 / 6 履修者 6 / 18発送済

6 / 9～23履修者 7 / 2・4 発送済

8 / 9～12履修者 8 / 28発送済

統計情報を見る眼 5 / 15～21履修者 6 / 6 発送済

司法・犯罪心理学 8 / 19履修者 8 / 24発送済

児童青年心理学 8 / 12～19履修者 8 / 24発送済

福祉リスクマネジメント 8 / 19履修者 8 / 24発送済

医療・福祉経済論 8 / 19～23 8 / 29発送済

6 レポート学習に関するご案内

スクーリング受講された科目（S科目を除く）のレポートは、講義内容を忘れないうちに早めの提出をお勧めします。

また、下記サポートも実施しておりますのでご活用ください。

●レポート学習のサポート

1) スクーリング時昼休みの「卒業生と話そう」

仙台会場でのスクーリング（一部科目）の昼休みに、通信教育部卒業生による、個別相談会を適宜設けています。

2) 卒業生へのメール相談

メール (uc@tfu-mail.tfu.ac.jp) 宛てに、①学籍番号、②氏名、③メールアドレス、④相談内容を記載のうえお送りください。初回はいただいた相談内容を、同じ学科やお住まいがお近くの卒業者の方（基本的に同性の方）に、ご連絡させていただきます。

3) 教員への個別質問について（予約制。科目の内容にかかわる質問）

『試験・スクーリング情報ブック2018』p. 40参照。郵送・メールでは、『学習の手引き』4章1節（2016年度以前入学者は6章）参照。

4) 職員への個別相談

仙台駅東口キャンパスにおいて、窓口対応時間（9：00～17：30。水曜日を除く）に、職員が資格取得や卒業に向けての学習計画の立て方、レポートの基本的な書き方、学習方法などの個別相談に応じています。ご希望の方は、事前予約をお願いします（メール（uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）・FAX・電話）。

●「福祉心理学」客観式レポート

社会福祉学科3年次編入学者で、郵送版での提出をご希望の場合は、巻末の用紙をA4判に拡大コピー（片面2枚）のうえ、もう1つの通常レポートとともに提出台紙に貼り付けてください。

●「社会福祉援助技術演習B」レポート提出にあたって

前号の『With』132号p. 56～57をご確認のうえ提出してください。

●「データ分析とプレゼンテーション技法」2単位めレポート提出方法

完成したレポートを添付ファイルとして、ur@tfu-mail.tfu.ac.jp あてにメール提出が可能です。通常の郵送による提出も可能です。

●レポート添削の状況について

9/12現在、8/3午前中までに通信教育部に到着したレポートで未返却の科目は下記のとおりです。いましばらくおまちください。その他で未返却の科目がございましたら、通信教育部事務室にご連絡ください。

「社会福祉援助技術論A・B」「社会福祉援助技術演習A」「精神保健福祉の理論」「精神保健福祉援助演習B」「心理学概論・A・B」「心理学研究法Ⅰ」「産業・組織心理学」「児童青年心理学」「教育心理学」「人格心理学」「司法・犯罪心理学」「幼児理解と保育相談」

7 学習全般・その他に関するご案内

●2019年度以降閉講となり、学習・単位修得ができなくなる科目

『試験・スクーリング情報ブック2018』p.37の「2018年度で閉講」に記載の科目の単位修得期限は来年3/31となります。単位修得希望者は、来年3/31までに単位取得できるように学習をご計画ください。

●2019年度教科書改訂・変更予定科目

「福祉法学」「社会保障論」「公的扶助論」「福祉心理学」「障害者福祉論」「高齢者福祉論」「介護概論」「人格心理学」

●学習実態調査・アンケートご回答のお願い

本冊子p.50～54の「在校生の学習実態調査・アンケート」へのご協力をお願いいたします。

※できるだけ「TFUオンデマンド」(Web)上の回答にご協力をお願いします。

●10月生奨学金のご案内

10月生で2017年度以前の入学者を対象に、下記のとおり2018年度「東北福祉大学通信教育部奨学金」の申込を受付けます。希望者は、『学習の手引き』2017年版9章（他11章）をよく読み、応募条件にご自身が該当するかどうかをご確認のうえお申込みください。

申込締切 10/15必着

申込方法 『学習の手引き』巻末の様式17を郵送にて提出

選考結果通知 11/20頃（予定）

8 大学・その他機関からのご案内

●国見祭（学園祭）のご案内

10/20(土)・21(日)の2日間、国見祭（学園祭）を開催します。今年のテーマは「叶来～想いが繋がる時～」です。日頃の課外活動の成果を発表したり、野菜の無料配布や模擬店など沢山のイベントを企画しています。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。詳しくは、国見祭ホームページ（<https://www.tfu.ac.jp/club/kunimisai/>）をご覧ください。国見祭実行委員会（電話022-233-3505）までお問い合わせください。

●認知症サポーター養成講座開催のご案内

認知症サポーター養成講座とは、認知症を正しく理解し地域で認知症の方やその家族を支えていくためにどうしたら良いかを考える講座です。受講修了者は「認知症サポーター」として認定されます。

本学での開講予定は下記のとおりです。

開講日時：11/17(土)10:00～11:30 会 場：仙台駅東口キャンパス

申込締切：10/19(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料（資料代）：100円 受講当日徴収 定 員：100名（予定）

申込方法：学籍番号、氏名、連絡先をご記入のうえ、学生生活支援課 F A
X（022-301-0606）またはEメール（tfu-leo@tfu-mail.tfu.ac.jp）でお
申込ください。

問合せ先：東北福祉大学学生生活支援センター（電話022-717-3314）

※資料代は110円ですが、一部を主催する学生団体が補助いたします。

※受講修了された方へ、認知症サポーターとして「オレンジリング」が進
呈されます。

※当日のスクーリング受講者は、時間が重なるため受講できません。

●TFUギャラリー ミニモリから催し物のご案内

【ミュシャ展】

開催期間 9 / 14～10 / 21 期間中休みなし

開館時間 10：00～17：00（入場は16：30まで）

入場料金 一般1,000円（前売800円） 大学生800円 他 HP 参照

問合せ先 TBC 事業部 電話022-714-1022

河北新報社企画事業部 電話022-211-1332

H P [http://www.tbc-sendai.co.jp/tc_event/special/
mucha2018/index.html](http://www.tbc-sendai.co.jp/tc_event/special/mucha2018/index.html)

●生涯学習支援室から公開講座のご案内

本冊子 p. 55～56のとおりです。

「在学生の学習実態調査・アンケート」のお願い

【調査の目的】 授業外学習時間についての調査、および教育課程・学習環境・各種印刷物やサポートの改善点検討の基礎資料にするために実施します。

【結果の公表】 個人が特定されない形で統計的に処理のうえ『With』などに掲載する他、上記【調査の目的】に関係して、文部科学省や大学関係者に報告・発表させていただく予定があります。

【個人情報の利用】 調査は記名式（ただし郵送の場合は記名は任意）で行われますが、個人の特定や、回答者に不利益が生じることはありません。また、問2③で大学からの連絡を希望する方以外に、個別にご連絡することはありません。

【調査対象】 正科生（休学中の方を除く）

※新入生も含めできるだけ多くの方のご協力をお願いします。

【回答期限】 2018年10/31

【回答方法】 下記の(1)もしくは(2)いずれかの方法で回答してください。

※できるだけ(1)のWeb上での回答にご協力をお願いします。

(1) 「TFUオンデマンド」(Web) 上で回答

ログイン後、画面左側「セミナー」をクリックすると出てくるアイコン「2018学習実態調査」をクリックして開始してください。

(2) 回答用紙（巻末）による回答

次ページ以降（p. 51～54）につきまして、本冊子巻末の回答用紙に回答を記入していただき、FAXや郵送（送料は本人負担になります）、またはスクーリング等で本学に来校時に事務室窓口や職員へ直接お渡しください。

2018年度 在学生の学習実態調査・アンケート

【回答方法】本冊子 p. 50

◆以下の問1～5について、あてはまる番号を選択、または具体的内容をお答えください。

問1 普段の学習頻度や学習時間についてお聞きします。

※ここでの「学習」は、会場スクーリング受講時間は除くものとします。

①学習の頻度はだいたいどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- | | | |
|----------|-----------------|---------|
| 1 週5～7日 | 2 週3～4日 | 3 週1～2日 |
| 4 月に1～3日 | 5 まだ学習に取り組んでいない | |

②学習する日の1日の学習時間は平均してどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 1時間未満 | 2 1時間以上3時間未満 |
| 3 3時間以上5時間未満 | 4 5時間以上 |
| 5 まだ学習に取り組んでいない | |

③1単位分のレポート（論述式のもの）が完成するまでに要する平均時間はどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 30時間以上 | 2 20時間以上30時間未満 |
| 3 10時間以上20時間未満 | 4 5時間以上10時間未満 |
| 5 5時間未満 | 6 まだ学習に取り組んでいない |

①学習にあたって、現在どのようなことに困っていますか。当てはまる番号をすべて選択してください。

- ②学習に取り組んだりやる気を維持するにあたって、どのような支援や制度があればよいと思いますか。当てはまる番号をすべて選択してください。

- 52

④『With』の内容について

- 1 適切 2 ほぼ適切 3 やや不十分 4 不十分
5 ほとんど利用していない

(わかりにくい点・改善点などを自由にお書きください)

⑤各科目の教科書の選択や内容について

- 1 適切 2 ほぼ適切 3 科目によりやや不適切
4 科目により不適切 5 ほとんど利用していない

(ご意見を自由にお書きください)

問4 今後通信教育部で開講してほしい授業テーマ、このような機会があるとよいと感じのことがありましたら、ご自由にお書きください。

問5 その他、ご意見・ご要望・改善のご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

生涯学習支援室 公開講座のご案内

10～11月開催の主な公開講座は下記のとおりです。講座の詳細は、生涯学習支援室ホームページ（www.tfu.ac.jp/llc/index.html）をご覧ください。

申込方法：メール、FAX、ハガキのいずれか（電話は不可）

※講座番号、氏名、住所、年齢、電話番号、FAX番号を明記。

申込・問合せ先：東北福祉大学 生涯学習支援室（電話022-766-8834）

983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26

東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

メール life@tfu-mail.tfu.ac.jp FAX 022-766-8835

【古文書の解読法】講座番号18019(初級編)、18020(中級編)

古文書学とは、古文書に関する知識を整理し、体系化する学問のことです。日本の歴史や家系に関する史料を自分で読んでみたいが、独学ではなかなか前に進めないと感じておられる方が多くいらっしゃいます。本講座では江戸時代の古文書を取り上げ、開催いたします。

初級編（全5回〔木曜日〕。定員80名）

開催日時：10／4、11、18、25、11／1 各回とも14：30～16：00

中級編（全5回〔金曜日〕。定員80名）

開催日時：10／5、12、19、26、11／2 各回とも10：30～12：00

講師：細井 計（岩手大学名誉教授、元本学教授）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：初級編3,000円、中級編3,000円 申込締切：9／27

【美文字講座】講座番号18025

字は心を表します。もし履歴書がきれいに書いてあったら、その方の第一印象は良い印象を与えます。就職活動中の方から「企業様へ提出する書類を綺麗に書きたいけど、実際に書こうと思った時にどんどころに気をつけて書いていけばいいのかわからない」という声を多くいただいております。また、一般的に「お礼状やお手紙を手書きで心を込めて書きたいけど、どうやったら綺麗に書けるのかコツを知りたい」という声も多くいただいております。

開催日時：全3回〔土曜日〕10／6、13、20 各回とも13：30～15：00

講師：佐々木 鈴優（佐々木鈴優書道院）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：3,000円 申込締切：9／28 定員：50名

【災害時における避難所生活の福祉支援】講座番号18032

災害は、身近なところでも起きます。災害によって自宅での暮らしが難しくなり、避難所で生活を送らなければならなくなることもあります。そんなときに、福祉的な支援を必要としている方々の生活をどのように支えることができるのかを考えます。

また、地域の中の社会福祉施設ができることや果たすべき役割、NPO団体や都道府県単位のネットワーク組織による避難所への支援活動について事例を通して学び、災害時における福祉支援活動や避難所のあり方等の理解を深めていきたいと思います。

開催日時：全1回10／2(火) 13：30～15：30

講師：野田 毅（社会福祉法人東北福祉会）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：500円 申込締切：9／25 定員：100名

【笑い与健康】講座番号18033

笑いについては、「破顔一笑」「抱腹絶倒」「怒れる拳笑顔に当たらず」「笑う門には福来る」などの言葉があります。笑いは、日常の生活や健康に様々な影響を及ぼしているといえます。そこで本講座では、笑いの効用や日々の生活への活用について講義を行いながら、参加者の皆さんと一緒に笑いを楽しみたいと思います。

開催日時：全1回11/10(土) 13:30～15:00

講師：柏倉 栄子（本学教授）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：500円 申込締切：11/2 定員：100名

【知っているようで知らない悲しみの基本】講座番号18034

～深い悲しみにかけてあげたい言葉～

誰もが生涯において、大切な方との別れを経験していきます。しかしながら、深い悲しみ（悲嘆ひたん：グリーフという）とは、自らが渦中の人となってはじめて、真にその正体を知り得る特徴があります。周囲の方も、何とか力になれないだろうか、どのような声かけがよいのだろうかと悩みます。大震災を乗り越えようと歩いている私達です。同時に世は介護の深刻さを問う“2025年問題”を目前にしていますが、このことは多くの方を見送る事態にも突入していくことを意味します。この辺で悲しみの内容や援助において知っているようで知らない悲しみの基本について考えてみましょう。

開催日時：全1回11/27(火) 15:00～16:30

講師：宮林 幸江（本学教授）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：500円 申込締切：11/20 定員：100名

【儀礼の効力をめぐる論争】講座番号18035

われわれはふだんあまり何も考えずにさまざまな儀礼に参加しています。しかし、自分以外の誰か（特に外国人など）が儀礼を行っているのを目にした時には、「この人たちはなぜこんな奇妙なことをしているのだろう」という疑問が頭をよぎることがあります。このような状況では、人々が儀礼の効力を信じているかのように見えるわけです。本講座では、このような視線の歪みが宗教学と人類学の理論にどのような影響を及ぼしてきたかという点について考えます。

開催日時：全2回（火曜日）11/6、20 各回とも13:30～15:00

講師：早川 敦（本学仏教専修科）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：1,000円 申込締切：10/30 定員：100名

【東北に花を】講座番号18017

～東北の復興に向けた将来ビジョン～

東日本大震災から7年が経過し、震災からの復旧ステージから、震災前を越える「復興」を果たすために、①東北独自の歴史文化を見直し②将来へのビジョンを考える講座にしたいと思います。とくに国会議員の立場から現在の国政についてご説明するとともに、将来の国と地方の在り方、そして世界の中で「東北地方」のブランドを認知し確立されるためのヒントをこの講座を通じて共に考えたいと思います。

開催日時：全2回（土曜日）11/24、12/1 各回とも13:00～14:30

講師：櫻田 義孝（衆議院議員）

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料：無料 申込締切：11/16 定員：100名

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●精神保健福祉援助技術総論Ⅱ 志村 祐子

- ・意図的なコミュニケーションを何気ない会話から行うことの難しさを改めて感じた。クライアントとの何気ない関わり方にもPSWとしての専門性が求められてくるものであると勉強になった。
- ・精神障害を抱えている人は、病気による症状もいろいろなので、その人にあったかわりが重要だと思う。肯定感をもてるような声かけを、ひとくくりではなくその人個人に合った接し方で、向き合って援助をしてきたいと思った。

●精神科リハビリテーション学 石黒 亨

- ・ボリュームある講義内容でしたが、スライドを用い、とてもわかりやすく丁寧な内容でした。リハビリテーション計画作成の際、「ニード」ではなく計画目標を達成することに重点をおいていないかとの話がありましたが、自分も支援計画を実行しているときに陥っているかも…と気付かされました。
- ・精神科リハビリテーションの歴史は、精神科病院の入院治療から脱施設化、地域リハビリテーションと移行していったことがわかった。我が国の脱施設化は後れている。改革ビジョンにより国民の意識改革と共生社会を目指し、偏見のない社会になってほしい。

●精神保健福祉のサービス（精神保健福祉論Ⅱ） 大橋 雅啓

- ・ただ講義を聞くだけの形式ではなく、参加者の質問や意見を取り入れながら進める形式だったため、興味関心の幅が広がったとともに、主体的に講義に参加しようと思うことができた。
- ・国の法制度や、行政の政策などがわかってきました。細かく難しいことなので、このスクーリングで学んだことを基にして、これからも勉強していかなくてはいけないと思いました。

●心理学概論 佐藤 俊人

- ・意識せず行っていたことに、心理学の理論があったんだと思った（ごほうびシールがオペラントとか）。
- ・先生の話が面白く、テキストを読んでも理解できなかった箇所が、理解できるようになった。心理学に興味関心をたくさんもちました。
- ・日常生活のことを用いての内容だったので、共感できて、頭にも入りやすかったので楽しかったです。人とのコミュニケーションをとった方がいいと思い知らされました。頑張りたいです。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●児童青年心理学 半澤 利一

- ・アイデンティティの確立に年齢は関係ないと思った。「一度達成したら終わりではない」と先生もおっしゃったが、確かに、その体験が私にとっては土台になっていることに気付いた。先生の講義をきいていて、自分の過去の経験と突然結びついた。
- ・先生が働いていたときの事例を基にした実体験から言語化されていてわかりやすかった。教科書だけではわからないことを知ることができた。

●老年心理学 吉川 悠貴

- ・認知症の方へのBPSDへの対応について、表面的でその場しのぎの方法では根本的解決にはならず、介護者からの視点でしか考えていないということに気付かされました。今後、中核症状まで含めて考えるようにしていきたい。
- ・認知症の人からの視点で見た世界と現実とのギャップがとても大きいことを知った。授業内で取り上げたクリスティーンさんの書籍はとても興味がわいたので、購入し読みます。

●人格心理学 感情・人格心理学 皆川 州正

- ・弘文堂のテキストがすごく読み甲斐があって、他の教科のレポート作成にも必ず参照しています。社会福祉士のテキストでこんなに充実した心理学の勉強ができることには驚いています。テキストのコンセプト（ロマンティック・イデオロギーに流されない）も近年の福祉業界の課題を突いていて、福祉専門職養成の基盤として多くの人に読んで欲しい本だなあと感じています。この本との出会いは印象的でした。
- ・概説でしか知らなかったことの細かい背景や経緯を紹介していただき興味をもって理解を深めることができました。「人間とは何か」いろんな人が一生懸命追究して心理学が発展してきたことに改めて感銘を受けました。同時に、AIに求める役割が変わった途端、脳科学への研究費が削られたというお話を聞いてがっかりしてしまいました。臨床的にはすごく大事なことのでもっと研究して欲しいです。

●心理療法 秋田 恭子

- ・さまざまな心理療法には、それぞれ歴史的背景や考え方があり、現在に至っていることがよくわかった。具体的な面接場面をDVDで見ることでイメージがはっきりした。
- ・さまざまな心理療法の方法は、心理学の歴史と共に発展しているのだと考えさせられました。フロイト・ユング・アドラー・ロジャーズ、それぞれについてもう少し勉強したいと思いました。